※※※※※※※※※※※※※（飯田ふれあい交流センター）※※※※※※※※※※※※※

こんにちは 飯田まち協 です

朝日長者物語　伝説にかかわる地名、風物　その②

「伝説にかかわる地名、風物」について、第３回目は【年の神（としのかみ）】です。

朝日長者が屋敷内に祭ったという神で、長者館跡といわれているところの小高い傾斜地、ちょっとした自然林の中に、一坪余りの古代人の住家みたいな茅葺の祠がある。ここが年の神社で、ここの祭りが変わっている。

長者の末裔と称する北方部落の十三戸が氏子となり、直系であるという家が神官で、旧暦九月十六日、その祠を新茅で葺き替えて、新米で作った団子を持ち寄り、新装の神前で宴会する。それを団子祭りといって有名である。　（「九重風物誌」より）

2018 年 10 月 24 日、新茅で葺き替えられた祠

川端康成文学碑　建立５０周年記念事業について　その③

川端康成文学碑建立５０周年記念

文豪川端康成と画家高田力蔵、そして九重　～ 九重の自然美 交流の軌跡 特別展 ～

１１月２日（土）の碑前祭は、雨天のため会場を飯田公民館に移して開催されました。終了後引き続いて、記念講演が集会室で行われました。１１月３日（日）からは、絵画と資料の展示が九重文化センター２階の大会議室・視聴覚室・小会議室と１階の歴史資料館でありました。

会場入口に掲げられた
横断幕とポスター

「碑前祭」で主催者挨拶をする
九重の自然を守る会・髙橋裕二郎理事長

「記念講演」をする
久留米市美術館・森山秀子副館長

飯田地区まちづくり協議会は「お出かけ芸術不定期便」を開催!!

１１月７日（木）、特別展の会期中に川端康成文学碑をめぐり、絵画・資料を鑑賞しました。

川端康成文学碑の前で

画家高田力蔵先生の絵画を鑑賞

文豪川端康成先生の資料を鑑賞

１１月９日（土）～１１月１５日（金）は、秋の全国火災予防運動。

2024 年度の防火標語　「守りたい 未来があるから 火の用心」